2026 年 3 月 23-29 日

18 番の歌 贖いに感謝する

エホバとイエスの愛に応えてあなたには何ができますか

「*キリストの愛が私たちを駆り立てる*」。コリント第二 5:14

ポイント：私たちはそれぞれ，どんなふうに贖いへの感謝を表せるでしょうか。

1-2. イエスの贖いの犠牲について考えると，どんな気持ちになりますか。どうしてですか。（コリント第二 5:14，15）（挿絵も参照。）

あなたが倒壊したビルから救出されたとしたらどう感じるでしょうか。助けてくれた人にとにかく感謝したいと思うのではないでしょうか。ほかにも助かった人たちがいても，***自分が***助けられたことについて感謝を表したいと思うはずです。命が救われたことを当たり前のことだとは思わないでしょう。

2 前の記事で考えたように，私たちは受け継いだ罪から自力で抜け出すことはできません。でもイエスの贖いの犠牲のおかげで，（1）犯した罪を許され，（2）罪深い状態から抜け出せるという希望が持て，（3）神と和解できます。その結果，新しい世界で永遠に生きるという見込みを持てるようになりました。イエスが命を犠牲にしたのはどうしてでしょうか。人間を深く愛しているからです。しかも，地球に来るずっと前から愛してくれています。（格 8:30，31 その時，私は**優れた働き手**として**神のそばに**いた。 私は毎日，**神が深い愛情を抱く存在**で，**いつも神の前**で**喜んだ**。 31 **人が住むための地球**を見て**喜び**，**人間に深い愛情を**抱いた。）パウロは「キリストの愛が私たちを***駆り立てる***」と書きました。（コリント第二 5:14，15 キリストの愛が私たちを駆り立てるのです。私たちは次のように考えているからです。1 人の人が全ての人のために死にました。ということは，全ての人は死んでいたのです。 15 その方が全ての人のために死んだのですから，生きている人たちはもはや自分のために生きるのではなく，自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです。を読む。）イエスの愛について考えると，贖いによって救ってくれたことに感謝を表したい，という気持ちになります。

受け継いだ罪から救い出された私たちは，
倒壊したビルから救出された人のように，
救ってもらったことに感謝したいと思うはず。
（1-2 節を参照）

3. 贖いへの感謝の表し方が人によって違うのはどうしてですか。

3 贖いへの感謝の気持ちを***あなたは***どのように表したいと思いますか。感謝の表し方は人によって違うかもしれません。例えで考えてみましょう。別々の場所にいる 3 人の人が同じ目的地を目指して旅行するとしましょう。一人一人出発点が違うので，当然，目的地に向かうルートも違うはずです。同じように，贖いに対する感謝を表すという目的地に向かうルートも人によって違うでしょう。エホバとの友情を育てる上で，自分がどんな立ち位置にいるかで変わってきます。それでこの記事では，（1）聖書レッスン生，（2）バプテスマを受けたクリスチャン，（3）エホバの家族から離れてしまっている人たちがどのように感謝を表せるかを考えます。

聖書レッスン生

4. 聖書を学んでいる人のことを，エホバはどんなふうに思っていますか。

4 あなたが良い知らせを聞いて聖書を学んでいるのであれば，それはエホバが引き寄せてくれている証拠です。（ヨハ 6:44 私を遣わした父が**引き寄せてくださらない限り，誰も私のもとに来ることはできません**。私はその人を**終わりの日に復活**させます。使徒 13:48 異国の人々はこれを聞いて喜び，エホバの言葉を賛美するようになった。そして，**永遠の命を得る**ための**正しい態度**を持つ人は**皆，信者**となった。）「心を調べる」エホバは，あなたがエホバについて知ろうと頑張っていることや，エホバの基準に合わせて自分を変えているのを見ておうれしく思っています。（格 17:3 **るつぼは銀**のため，**炉は金**のため，**エホバは心を調べる方**である。; 27:11 わが子よ，**賢くあって，私の心を喜ばせよ**。私をあざける(*に挑む)者に私が答えるためである。）エホバとの友情を育めるのは，贖いがあるからです。（ロマ 5:10，11 敵だった時に神の子の死によって神と和解したのですから，まして和解した今，神の子の命によって救われるはずなのです。11 それだけでなく，私たちは，主イエス･キリストのおかげで，神との関係を喜んでいます。キリストを通して神と和解したからです。）それを当たり前のことと考えないようにしましょう。

5. 聖書を学んでいる人は，どのようにフィリピ 3 章 16 節のアドバイスに従えますか。

5 今聖書を学んでいる人は，贖いへの感謝をどのように表せますか。パウロはこう勧めています。「私たちはこれまで進歩してきたのですから，この同じ道をきちんと歩んでいきましょう」。（フィリ 3:16 いずれにしても，私たちはこれまで進歩してきたのですから，この同じ道をきちんと歩んでいきましょう。）このアドバイスに従って，たとえ問題があっても聖書を学び続け，命の道を進んでいくことが大切です。（マタ 7:14 一方，**命に至る門**は**狭く**てその**道**は**狭められて**おり，それを**見つける人は少ない**のです。ルカ 9:62 イエスは言った。「**すきに手を掛けて**から**後ろのものを見る**人は神の王国に**ふさわしい人では**ありません」。）

6. 聖書を学んでいて壁にぶつかったと感じるとき，どうしたらいいですか。（申命記 30:11-14）（写真も参照。）

6 最近学んだ教えの中でなかなか納得できないものがありますか。もしそうなら，その教えについて**調査**しましょう。もっとよく理解できるよう，エホバに**祈る**ことも大切です。（詩 86:11 エホバ，**あなたの道**を**教えて**ください。私は**あなたの真理に従って歩み**ます。**私の心を一つに**して

(*分かれていない心を私に与えて)ください，私はあなたの名を一心に畏れます。）それでもよく理解できないときは，いったんそれを脇に置き，レッスンを続けてみましょう。では，聖書が良くないと言っているのにやめられないことがある場合はどうですか。私たちにできないことをエホバは決して求めたりしない，ということを思い出しましょう。***あなたも***エホバが喜ぶ生き方ができます。（申命記 30:11-14 私が今日命じるこの**おきて**は，**あなたに**とって**難し過ぎる**ものでも，**遠くにある**もの**でもありません**。 12 それは**天にあるわけではない**ので，『私たちが聞いて守れるように，誰が天に昇ってそれを取ってきてくれるのか』と言う必要はありません。 13 それは海の向こうにあるわけではないので，『私たちが聞いて守れるように，誰が海を渡ってそれを取ってきてくれるのか』と言う必要もありません。 14 **その言葉**は**あなたのすぐ近く**，**あなたの口と心にある**ので，それを**守ることができ**ます。を読む。）エホバが必ず助けてくれます。（イザ 41:10 **恐れてはいけない**。**私があなたと共**にいる。 **心配してはいけない**。**私があなたの神**である。 私は**あなたを強くし**，**必ず助ける**。 私の**正義の右手で**あなたを**しっかりと支える**(*つかんで離さない)，13。コリ一 10:13 **あなたの神**である**私エホバ**は，**あなたの右手**を**しっかりつかみ**，『**恐れてはいけない**。私が**あなたを助ける**』と言う。）それで，諦めないでください。乗り越えないといけない問題がどれほど大変かばかり考えるのではなく，エホバが自分のためにどれほどたくさん良いことをしてくれたかを考えるようにしましょう。エホバはあなたのためにイエスを贖いとして与えてくれました。エホバへの感謝の気持ちが深まると，エホバをもっと愛するようになり，「神のおきては重荷では」なくなります。（ヨハ一 5:3 **神を愛する**とは，**神のおきてを守る**ことです。神のおきては**重荷では**ありません。）*聖書を学んでいる人は「いつまでも幸せに暮らせます」の本の各レッスンの最後にある「次のステップ」に取り組んでみましょう。そうするならステップアップしていけます。

エホバは私たちにできないことを求めたりしない。
エホバに喜ばれる生き方ができるように必ず助けてくれる。
（6 節を参照）

7. クリスチャンの親に育てられている若い人は，どんなことをじっくり考えるといいですか。

7 クリスチャンの親に育てられている若い人も，聖書レッスン生といえます。親にとっては***一番大切な***聖書レッスン生です。聖書にはこうあります。「神に近づいてください。そうすれば，神は近づいてくださいます」。（ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば，**神は近づいてくださいます**。罪人たち，手を清めてください。優柔不断な人たち，心を清めてください。代一 28:9 そして，わが子ソロモン，あなたは父の神を知り，**心を尽くして喜びの(*進んでする)心で**神に仕えなさい。エホバは全ての心を探り，考えの傾向を全て見極める方だ。**あなたが神を探し求める**なら，**神を見つけられる**が，神を捨てるなら，神からいつまでも退けられる。）エホバに近づこうと一歩踏み出せば，エホバもそれに応えて近づいてくれます。エホバはあなたのことを，ただエホバの証人の親とセットとして見ているのではありません。あなた個人に注目しています。友達になりたいと思って引き寄せてくれました。エホバと友達になれるのは，贖いのおかげです。

そのことを決して忘れないようにしましょう。（ロマ 5:1，2 従って，私たちは**信仰のゆえに正しいと認められた**のですから，主イエス･キリストを通して**神との平和を楽しみ**ましょう。 2 私たちはさらに，キリストを通して，信仰により，惜しみない親切を受けられるようになりました。その親切を今味わっています。**神によって栄光に輝くという希望**があるのですから，**喜び**ましょう）今年の記念式に出席する前に，イエスの死が***自分に***とって**どれほど大切**なものか，じっくり考えてみるのはどうですか。そうやってエホバへの感謝の気持ちを深めましょう。エホバのために自分にも何かできると思えるようになってくるでしょう。*エホバに喜んでもらうためにさらに何ができるかについては，「ものみの塔」2017 年 12 月号の「若い皆さん『自分の救いを達成してゆきなさい』」という記事を見てください。

バプテスマを受けたクリスチャン

8. バプテスマを受けたクリスチャンは，贖いへの感謝をどのように表してきましたか。

8 あなたがバプテスマを受けたクリスチャンであれば，贖いへの感謝をいろんな形で表してきたはずです。例えば，エホバに喜ばれるために生き方を変えました。イエスに言われた通り，人々を弟子とするために良い知らせを伝えています。エホバに献身し，バプテスマを受けました。エホバへの信仰を貫こうとして反対に遭ったかもしれません（テモ二 3:12 **神への専心を貫き，キリスト･イエスに従って生きようとする人は皆，同じように迫害を**受けます。）そういう中でも信仰を捨てずに頑張ってきたのは，あなたがエホバを愛し，イエスの贖いに感謝しているからです（ヘブ 12:2,3 私たちの**信仰を導き，完全にしてくださる方**である**イエス**を一心に見つめながら走るのです。イエスは，**前途にある喜び**のために，**恥を物ともせず**苦しみの杭に耐え，神の座の右に座りました。 3 **罪人**たちは自分に害を招く**敵対的な言葉**を語り，**イエス**はそれを**忍耐**しました。そのイエスのことをよく考えてください。そうすれば**疲れて諦めてしまうことはない**でしょう）

9. バプテスマを受けた後も，どんなことに気を付けないといけませんか。

9 でも，気を付けないといけないことがあります。贖いのありがたみをだんだん忘れてしまうということです。そんなことがあるのでしょうか。1 世紀のエフェソスのクリスチャンは，よく忍耐していたのでイエスから褒められました。でも，こうも言われました。「とがめるべき点があります。あなたが，初めの頃に抱いていた愛を失ったことです」。（啓 2:3，4 さらに，あなたはよく忍耐しており，**私の名のために辛抱してきました。疲れ果ててはいません。** 4 **しかし，とがめるべき点**があります。あなたが，**初めの頃に抱いていた愛を失った**ことです。）私たちにもそういう危険があります。最初の頃はエホバへの愛の気持ちから祈り，集会に行き，伝道に参加していても，いつの間にか，それがただの習慣になってしまうことがあります。では，どうすれば熱い愛をもう一度呼び覚ませるでしょうか。

10. どうしたらクリスチャンの活動について「よく考え」，「打ち込」むことができますか。（テモテ第一 4:13，15）

10 パウロはテモテに，クリスチャンの活動について「よく考え」，「打ち込みなさい」と言いました。（テモテ第一 4:13 私がそちらに行くまで，**朗読**と**説き勧める(*励ます)**ことと**教える**ことに

励んでください，15 これらのことについて**よく考え(*黙想し)，打ち込み**なさい。そうすれば，あなたの**進歩**は**誰の目にも明らか**になるでしょう。を読む。）私たちも，どうすればもっと心を込めてエホバを崇拝できるか考えてみましょう。「聖なる力によって熱意に燃え」ているために何ができるでしょうか。（ロマ 12:11 **怠けたりせず，よく働いて**ください。**聖なる力**によって**熱意に燃え**ましょう。エホバに**一生懸命仕えて**ください。注釈「聖なる力によって熱意に燃えましょう」の項目を参照。「**熱意に燃え**」と訳されているギリシャ語は字義的には「**沸騰する**」という意味。このギリシャ語表現はプネウマという語と合わさって，比喩的に使われている。プネウマは，「聖なる力」も，心から生じて人を駆り立てる力も意味する。それで，この表現は強い意欲と熱意を指す慣用句にすぎないと考える人もいる。しかし，ここでは，神の「聖なる力」つまり神の送り出す力を受けて，熱意や熱心さがあふれていることやそれらを発揮しているという考えを伝えているようだ。聖なる力はエホバの意志に沿って物事を行うよう人を動かし，力づけることができる。（マル 1:12 の注釈を参照。）神の聖なる力によって「熱意に燃え」ると，人の心から生じて人を駆り立てる力にも影響が及び，正しいことに対する熱意と熱心さで満たされる）例えば，集会にもっと集中できるようにしっかり準備して参加します。また，自分で聖書を勉強する時間をもっと充実させるために，静かな環境でじっくり考えながら学びます。そのようにすれば，まきをくべるかのように，贖いなどエホバが与えてくれたものへの感謝の気持ちを燃え上がらせることができます。また，記念式の前の時期，エホバの証人だからこそ味わえている幸せを改めて考えてみるのはどうでしょうか。きっと，**贖い**のおかげでエホバとの絆を持てることに感謝せずにはいられなくなります

11-12. やる気が湧いてこないということは，聖なる力をもらえていないということですか。（写真も参照。）

11 以前ほど熱い気持ちでクリスチャンの活動に参加できていない，と思うことがあるかもしれません。でも，自分は聖なる力をもらえていないと考えて，がっかりしないでください。パウロは伝道することについて，コリントの兄弟姉妹にこう言いました。「たとえ自分の意志に反して果たすとしても，管理人としての責任があることに変わりはありません」。（コリ一 9:17 その任務を進んで果たすなら，私は報いを得ます。しかし，**たとえ自分の意志に反して果たすとしても，管理人としての責任があることに変わりはありません。**）どういう意味でしょうか。

12 パウロにも，伝道する意欲が湧いてこない時がありました。***それでも***伝道を続ける決意でいました。私たちもパウロのように，**気持ちが乗らないとしても**正しいことを行う決意でいましょう。「行動するための意欲と力」をエホバに求めてください。（フィリ 2:13 神は**ご自分の望み**を**実現させるために皆さんを力づけて**くださいます。**行動するための意欲**と**力**の**両方を与えて**くださるのです。）エホバとの絆を強くするための活動を続けてください。そのようにしていれば，気持ちはやがて付いてきます。心の中にあるエホバへの愛が再び燃え上がるのを感じるでしょう。

やる気が湧いてこないときも，エホバとの絆を強くするための活動を続ける。（11-12 節を参照）

13. 「クリスチャンの信条の通りに生きているかどうか」，どうすれば確かめられますか。

13 時々，自分自身を見つめてみましょう。コリント第二 13 章 5 節自分がクリスチャンの信条の通りに生きているかどうか，いつも確かめてください。自分がどんな人かをいつも調べてください。皆さんは，イエス･キリストと結ばれていることが分かっていないのですか。もちろん，皆さんが退けられていなければのことですが。にはこうあります。「自分がクリスチャンの信条の通りに生きているかどうか，いつも確かめてください。自分がどんな人かをいつも調べてください」。時々こう問い掛けてみましょう。「エホバへの奉仕を何よりも大切にしているだろうか」。（マタ 6:33 ですから，王国と神から見て正しいこととをいつも第一にしなさい。そうすれば，こうしたほかのもの全ても，あなたたちに与えられます。）「気分転換に見たり聞いたりするものはどうだろう。悪いことを心から嫌っているだろうか」。（詩 97:10 エホバを愛する人たち，悪を憎め。 神はご自分に尽くす(*を揺るぎなく支持する/から離れない)人たちの命を守っている。 その人たちを悪人の手から助け出す。）「会衆の和やかな雰囲気に貢献しているだろうか」。（エフェ 4:2，3 いつも謙遜で温和であり，辛抱し，愛を抱いて互いに寛容であってください。 3 平和という絆で結ばれ，聖なる力による一致を保つよう真剣に努力してください。）記念式の時期は自分を見つめるいい機会になります。エホバが贖いを与えてくれたことを思い出せるので，自分のためではなくイエスのために生きているかどうか考えさせられます。*感謝の気持ちを忘れないために何ができるかについては，「ものみの塔」1995 年 6 月 15 日号の「あなたはどのような動機で神に仕えていますか」という記事を見てください。

エホバの家族から離れてしまっている人たち

14. どういう理由でエホバの家族から離れてしまっている人がいますか。

14 バプテスマを受けてしばらくして，あるいは何年もエホバに仕えていたのにエホバの家族から離れてしまったクリスチャンもいます。「生活上の心配事」でいっぱいいっぱいなのかもしれません。（ルカ 21:34 とはいえ，食べ過ぎや飲み過ぎや生活上の心配事(*暮らしのための心配事/日常生活の心配)で心が圧迫されないよう注意していなさい。そうでないと，その日が全く突然に訪れます。）兄弟姉妹に言われたことやされたことに傷ついたのかもしれません（ヤコ 3:2 私たちは皆，何度も過ちを犯し(d*つまずき)ます。言葉で過ちを犯さない(d*つまずかない)人がいれば，それは完全な人で，体全体を制御できます。）大きな過ちを犯したのに，助けを求めることをためらっているのかもしれません。どんな理由であっても，エホバの家族から離れてしまっている人はどうすればいいでしょうか。贖いについてよく考えると，一歩踏み出す勇気が湧いてきます

15. エホバは，離れてしまっている人のことをぜひ助けたいと思っています。そう言えるのはどうしてですか。（エゼキエル 34:11，12，16）

15 エホバはそういう人たちのことをどう思っているのでしょうか。見限ったり忘れたりするどころか，何とかして捜し出し，世話し，戻れるよう助けたいと思っています。（エゼキエル 34:11，12 主権者である主エホバはこう言う。「私はここにおり，自ら自分の羊を捜し，世話する。 12 散らされた羊を見つけて養っている羊飼いのように，私は自分の羊を世話する。雲と濃い暗闇の日

に散らされた全ての場所から，**羊を救い出す**，16 **いなくなった羊**を捜し，**はぐれた羊**を連れ戻し，**けがをした羊**に包帯をし，**弱い羊**を力づける。しかし，**肥えた羊**と**強い羊**を**滅ぼし尽くす**。私は彼らに**処罰を食らわせる**。を読む。）今まさに，エホバはあなたのことを助けようとしています。あなたが今この記事を読んでいるということ自体，エホバを思っている証拠です。以前，あなたの心を見て***引き寄せて***くれたエホバは，今もあなたの手を引いて家族の所に***戻れる***ようにしてくれているのではないでしょうか。

16. エホバのもとに帰るためにどんなことができますか。（写真も参照。）

16 「エホバのもとに帰ってきてください」の冊子には，こんな温かい言葉が書かれています。「安心してください。エホバは，帰ってくるあなたを迎えてくださいます。そして，心配事に対処できるよう，心の傷が癒やされるよう，また良心に責められることがなくなって穏やかな気持ちになれるよう，助けてくださいます。きっと仲間の兄弟姉妹と一緒にもう一度エホバに仕えていこうという意欲が湧いてくるでしょう」。長老たちはあなたが戻ってこられるよう，何でもしたいと思っています。「風から逃れるための場所，暴風雨から避難するための場所」になってくれます。（イザ 32:2 彼らはおのおの，**風から逃れるための場所，暴風雨から避難するための場所，水のない土地に流れる水，乾き切った土地にある大岩の陰**のようになる。）エホバがあなたのためにイエスを贖いとして与えてくれたことを思い，こう考えてみてください。「エホバのもとに帰るために何ができるだろうか」。（イザ 1:18 エホバはこう言う。「来なさい。**私たちの間**で**物事を正そう**。あなたたちの**罪は緋(*赤)のようだが，雪のように白くされる**。**紅の布のように赤いが，羊毛のようになる**。ペテ一 2:25 皆さんは**さまよう羊のように**でしたが，**皆さんの命を守る牧者**であり**監督**である方のもとに**帰って**きました。）できることはいろいろあります。王国会館の集会に行けるでしょうか。エホバとの絆をまた強くするために長老に助けてもらえますか。聖書レッスンをしてもらえるでしょうか。あなたが贖いに感謝してそんなふうに頑張るなら，エホバはその姿を見て感動し，必ず助けてくれます。

「エホバのもとに帰るために何ができるだろうか」と考えましょう。（16 節を参照）

あなたには何ができますか

17-18. 記念式に向けて，どんなふうに心を整えられますか。

17 イエスによると，エホバが贖いを与えたのは，「独り子に信仰を抱く人が皆，滅ぼされないで***永遠の命***を受けられるように」するためです。（ヨハ 3:16 神は，自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして，独り子に信仰を抱く人が皆，滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。）贖いのおかげで，私たちは罪と死から救われます。そのことへの感謝を決して忘れたくありません。（ロマ 3:23，24 **全ての人は罪人**になったので，**神の栄光に達す**

ることができません。 24 キリスト・イエスが払った贖いによって解放され，神の惜しみない親切によって正しいと認められることは，無償の贈り物なのです。コリ二 6:1 さらに，神と共に働く私たちは皆さんに勧めます。神の惜しみない親切を受けながら，それを無駄にすることがないようにしてください。）記念式を控えた今の時期，エホバとイエスの深い愛についてよく考えるようにしましょう。そうすると感謝の気持ちでいっぱいになり，何とかしてその感謝を表したくなります。

18 あなたはどんなふうに感謝を表したいですか。もちろん，感謝の表し方は人によっていろいろです。世界中の兄弟姉妹が，「自分のために生きるのではなく，自分のために死ん[だ]方のために生き」ようとしています。あなたも同じ思いで頑張るなら，エホバはそれを見て心を熱くし，いつまでも友でいてくれます。（コリ二 5:15 その方が全ての人のために死んだのですから，生きている人たちはもはや自分のために生きるのではなく，自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです。）

どんなふうに贖いへの感謝を表せますか

1. 聖書レッスン生

・S05　この同じ道をきちんと歩んでいくというﾌｨﾘﾋﾟ 3:16 に従って、たとえ問題があっても聖書を学び続け、命の道を進んでいく。

・S06　〇最近学んだ教えの中でなかなか納得できないものがあったら、その教えについて調査し、もっとよく理解できるよう、エホバに祈る。それでもよく理解できないときは、いったんそれを脇に置き、レッスンを続ける。〇聖書が良くないと言っているのにやめられないことがある場合は、エホバは私たちにできないことを決して求めたりせず、必ず助けてくれることを思い出す。諦めないで、乗り越えないといけない問題がどれほど大変かばかり考えるのではなく、エホバが自分のためにどれほどたくさん良いことをしてくれたかを考える。そうするとエホバへの感謝の気持ちや愛がが深まり、「神のおきては重荷では」なくなる。

2. バプテスマを受けたクリスチャン

・S10　どうすればもっと心を込めてエホバを崇拝できるか考えてみる。例えば、集会にもっと集中できるようにしっかり準備して参加します。また、自分で聖書を勉強する時間をもっと充実させるために、静かな環境でじっくり考えながら学ぶ。

・S12　伝道する意欲が湧いてこない時も、エホバとの絆を強くするための（伝道）活動を続ける。

・S13　時々特に記念式の時期に自分自身を見つめて、エホバへの奉仕を何よりも大切にしているか、自分のためではなくイエスのために生きているかどうか考えてみる。

3. エホバの家族から離れてしまっている人たち

・S16　エホバがイエスを贖いとして与えてくれたことを思い、「エホバのもとに帰るために何ができるだろうか」と考えてみる。「①王国会館の集会に行く、②エホバとの絆を強くするために長老に助けてもらう、③聖書レッスンをしてもらう」など、戻ろうと頑張るならエホバは必ず助けてくださる。

14 番の歌 地球を治める新しい王をたたえる